

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

れんげ桜が丘保育園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？ どうして？

できるかな？ こうしてみよう！

できた！ 今度はあれをやってみようかな

好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己にかかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性にかかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



社会福祉法人蓮花苑
れんげ桜が丘保育園

電話

042-567-4381

所在地

東京都東和市桜が丘
3-44-18 17号棟 1階



れんげ桜が丘保育園で

5歳児
クラス



とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

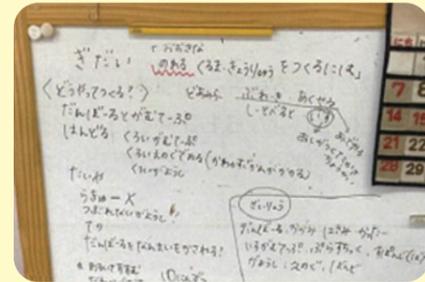
テーマ 物のなりたち (構造)に ついて

れんげ桜が丘保育園では、子供たちとダイナミックな遊びの展開を計画するために、「子ども会議」を立ち上げました。話し合いの中で、子供たちが読んだ絵本にある“拾った靴を車に変える”というストーリーに興味を持ち、「自分たちも本当に乗れる車を作りたい」との意見が出たため、様々な素材・仕組みを工夫しながら車を製作する活動を行いました。

どうしたら車ができるか話し合おう！

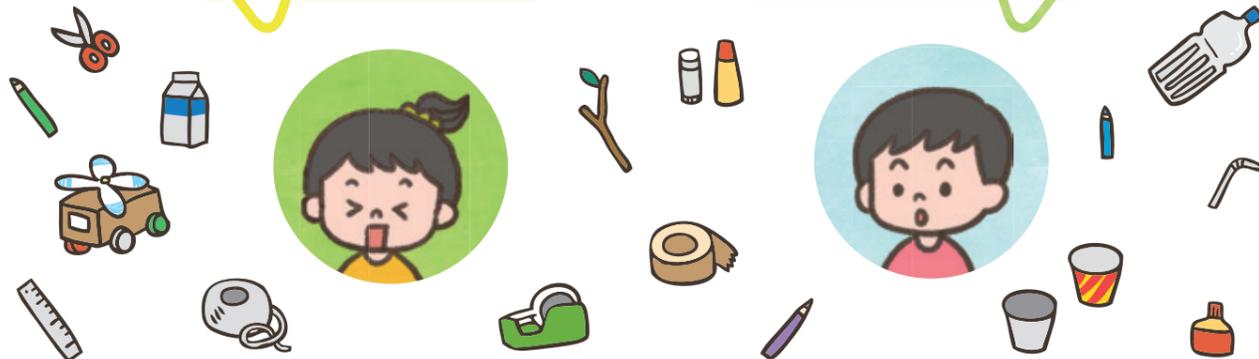
事前に子供たちから車を作るために必要なものを聞き取った上で、段ボール・風船・ゴム・はさみ・マジック・ガムテープ・綿・カラーポリ袋・ストロー・車や乗り物の構造が載っている本などを準備しました。

具体的にどのような車を作っていきたいか？
どのように作ればいだろうか？
また、どうすれば物は動くのか？ということについて、グループごとに子供たちの話し合いが進みました。



段ボールを切ったら
作れるよね！

でも段ボールだけだと
壊れちゃうよね…



グループごとに車作り！

子供たちは、それぞれ仮説を立てながら、試行錯誤しつつ、うまくいかなくてもあきらめずに車作りを行っていました。

車のデザインについて考えるグループや、黒い袋に綿を入れてタイヤを作るグループ、本や図鑑を参考にしながら車が動く仕組みについて考え、風船などを使って車を動かすことを試すグループなど様々でした。



どうやって
車は動くのかな？

タイヤやハンドルはどう動く？



活動を通して

活動後に、子供たちは今日の活動について、どこまで進んだか、何がうまくいったか、いかなかったかについて紙にまとめ、振り返りました。

今後の活動の展開として、より大きい車をみんなで作ったり、「作った車でどこに行きたい？」と問いかけながら、作った車に実際に乗ることを楽しめるようになるとういことです。

